

## 一般講演 I

座長：梶原 充（県立広島病院）

### ② Men's Health 外来における「証」の 有用性－LOH 症候群と ED との比較－

長野赤十字病院 泌尿器科

天野 俊康、岸蔭 貴裕、松本 侑樹、今尾 哲也

#### 【はじめに】

当科ではMen's Health 外来として、男性不妊症、加齢男性性腺機能低下 (LOH) 症候群、性機能障害などの診療を行っており、漢方薬治療も積極的に行っている。漢方薬の選択に際して、実虚問診票を使用して「証」の判定を行っているが、今回、LOH症候群と勃起障害 (ED) における「証」に関して比較検討を行った。

#### 【対象および方法】

当科外来を受診したLOH症候群582名およびED919名中、初診時に実虚問診票によるスコア (0～100点で、44点以下は虚証、45～55点は中間証、56点以上は実証) にて「証」を判定できた549名のLOH症候群、766名のEDを対象とし、両群における「証」などを比較検討した。

#### 【結果】

対象となったLOH症候群549名の平均年齢は $54.1 \pm 10.6$ 歳であり、Aging Male Symptom's (AMS) スコアは $51.5 \pm 11.7$ と重症が多く、実虚スコアは $47.4 \pm 11.5$ であった。勃起機能としてのSHIMスコアは、 $9.3 \pm 7.0$ であった。一方、EDを主訴とした766名の平均年齢は、 $53.5 \pm 14.7$ 歳、実虚スコアは $55.9 \pm 12.3$ 、SHIMスコアは $8.4 \pm 5.0$ であった。両群を比較すると (Welch t test)、年齢には有意差はなかったが、LOH症候群において、実虚スコアは有意に低く、SHIMスコアは有意に高かった。すなわち、ED症例に比べ、LOH症候群症例では、EDの自覚症状は軽度であるが、有意に虚証傾向であった。

#### 【考察】

当科のMen's Health 外来受診者は、LOH症候群およびEDを中心とした性機能障害が多数を占めている。LOH症候群の症状の一つとして性機能障害が挙げられるが、LOH症候群として当科を受診する場合、性機能障害以外の身体的症状や精神的症状を訴える場合が大多数である。今回の検討結果から、EDを主訴とする場合、当然の結果ではあるが、SHIMスコアはLOH症候群に比べ有意に低下しており、EDの程度が強かった。しかしながら、ED群ではLOH症候群に比べ有意に実虚スコアが高く、実証傾向であった。この結果は、EDの受診者は、医療機関を受診してEDを治療しようとする積極的な実証傾向的な姿勢があると考えられ、虚証傾向のEDでは医療機関への受診自体をしない可能性も挙げられた。一方、LOH症候群の場合は、全身的な体調不良のため医療機関を受診するが、病態としては虚証傾向にあるものと推察された。Men's Health 外来の実臨床では、LOH症候群は虚弱、EDが主訴の患者は実証との印象を持っていたが、今回の「証」を数値化した検討からある程度裏付けされ、実践漢方医学の参考になる結果と考えられた。